

令和5年度 全国保健師長会の活動について

～保健師活動の転換期を仲間とともに乗り越えるために～

令和6年3月24日

全国保健師長会
会長 松本 珠実

全国保健師長会

- 発足：昭和54年に発足
- 目的：保健師業務の進歩発展と会員相互の連携・親睦を図り、地域住民の健康に寄与し、わが国の公衆衛生の向上に資することを目的とする。
- 事業：保健師業務に関する情報交換
保健師業務について研修・調査研究
- 会員：自治体に所属し、保健師長と同等以上の職にあるもの
5,454人（令和5年12月末現在）

令和5年度 活動方針

変わりゆく地域の健康課題に対峙する公衆衛生看護活動の展開
～「誰ひとり取り残されない」保健師活動の転換期を仲間とともに乗り越える～

- 1 健康危機管理対応における保健師機能発揮に向けた取組の促進
- 2 地域診断と科学的根拠に基づく公衆衛生看護活動及び人材育成の推進
- 3 ブロック、支部における効果的な活動の推進
- 4 地域の公衆衛生看護活動の推進に向けた会からの情報発信の促進

令和5年度 最重点活動目標

1 保健師活動の可視化及び質の向上

- ・ 地域における保健師活動の充実強化を図るため、活動の可視化に努めます。
- ・ 都道府県部会・政令指定都市等部会・市町村部会各々の活動の充実を図ります。
- ・ ブロック研修会の充実を図ります。

2 情報発信の強化

- ・ 各自治体における取り組みの課題や先進事例の情報発信に努めます。

3 災害保健活動の推進

- ・ 「災害時の保健活動推進マニュアル」に基づく活動の理解促進に努めます。

4 市町村の会員拡大

- ・ 未加入自治体の加入促進を図ります。

全国保健師長会活動体系(令和5年度)

各種会議

- 代議員総会
- 運営会議
- 常任理事会
- 拡大常任理事会
- 理事会

ブロック活動・支部活動

- ブロック研修会(7ブロック)
- 支部活動(62支部)

部会・委員会活動

- 都道府県部会
- 政令都市・中核市・特別区部会
- 市町村部会
- 推薦委員会
- 広報委員会
- 調査研究委員会
- 学会、学術に関する委員会
- 健やか親子特別委員会
- 健康日本21の推進に関する特別委員会
- 災害時保健活動特別委員会

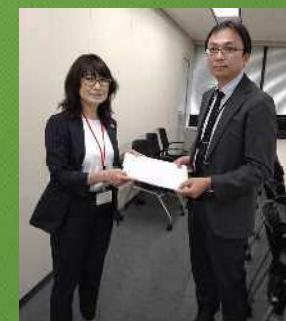
活動1 国家要望

I 重点要望

- 1 母子保健及び児童福祉をマネジメントする保健師の配置
- 2 自治体保健師の地域活動及び平常時からの健康危機管理を重視した人材確保と育成の支援
- 3 統括的な役割を担う保健師の育成と市町村における配置

II 施策別要望

- 1 母子保健施策及び児童福祉施策
- 2 感染症対策
- 3 健康施策
- 4 高齢者保健福祉施策
- 5 精神保健福祉施策
- 6 障害児者保健福祉施策
- 7 難病施策
- 8 健康危機管理(災害時)
- 9 生活困窮者の健康支援施策



活動2 検討会、調査等への参画・協力

厚労省/こども家庭庁 審議会・検討会等

- 厚生科学審議会「地域保健健康増進栄養部会/歯科健康診査推進事業」検討部会
- 市町村における精神保健に係る相談支援体制整備の推進に関する検討チーム
- 産後ケア事業の体制整備に関する調査研究事業 等

厚労省科学研究への協力

- 自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活動推進のための研究
- 保健所ならびに市町村保健センター間の情報連携を見据えたデジタル化推進に関する研究
- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進する政策研究
- 自治体保健師の計画的・継続的な確保に関する研究 等

関係団体との連携

- 日本公衆衛生協会、日本保健師連絡協議会、日本公衆衛生看護学会、日本公衆衛生学会、日本看護協会等
- 「保健師の未来を拓くプロジェクト」への参画

活動3 地域保健総合推進事業(受託事業)

健康危機管理における保健活動を推進する
統括保健師間ネットワーク構築に関する調査研究事業

- ・ 分担事業者 富岡順子(神奈川県平塚保健福祉事務所)

ネットワークの成果

自治体保健師組織の機能の強化

◆ 組織としての保健師職能の強化 (健康危機管理)

- <例> コロナ逼迫状況が共有され迅速に応援調整
- <例> 能登半島地震発生直後から統括間で連絡。
以前から政令市を含め合同派遣チームを編成
➔ 迅速に調整し派遣

◆ 統括保健師自身の役割認識の強化と行動

- <例> 統括としての意識が高まり活動
- <例> 他の統括保健師からアドバイスを得て役割・
期待が明確化
➔ 的確な動きができた。

住民サービスの向上

◆ コロナ禍

- <例> 救急医療体制の整備につながった。
- <例> 統括保健師が窓口になり
市保健師が応援 ➔ 住民サービスの充実

◆ 平時

- <例> 新規事業を統括保健師間で相談し、
住民サービスが充実

活動4 調査研究事業

健康危機管理において統括保健師に必要とされる
技術の明確化

- ・ 河西あかね(東京都多摩府中保健所)

保健所の企画・調整業務を担う保健師に求められる
能力とその向上のための取組

- ・ 大西聖子(大阪府泉佐野保健所)

活動5 ブロック研修

北海道ブロック

- ・ コロナ禍の保健師活動の振り返りとこれからの保健師活動を考える

東北ブロック

- ・ 「これからの保健師活動」～地域に責任を持つ活動の強化に向けて～

北関東・甲信越ブロック

- ・ 未来を創造する公衆衛生看護活動の展開～保健師活動の原点から住民とともに創る未来～

南関東・東京ブロック

- ・ 未来を創造する公衆衛生看護活動の展開「多様化する保健師の人材育成とは～日々の実践を振り返る～」

東海・北陸ブロック

- ・ 変わりゆく地域の健康課題に対峙する公衆衛生活動の展開～「誰ひとり取り残されない」保健師活動の転換期を仲間と乗り越える～

近畿ブロック

- ・ ”未来を創造する公衆衛生看護活動の展開“～保健師の原点から住民とともに創る未来～『保健師の人材育成と公衆衛生活動の推進』

中国・四国ブロック

- ・ 中堅期の人材育成～保健師を継続する力、なりたい管理者を目指すために～

九州ブロック

- ・ 変わりゆく地域の健康課題に対峙する公衆衛生活動の展開～「誰ひとり取り残されない」保健師活動の転換期を仲間とともに乗り越える～

活動6 委員会活動

- 都道府県部会
- 政令都市・中核市・特別区部会
- 市町村部会
- 推薦委員会
- 広報委員会
- 調査研究委員会
- 学会、学術に関する委員会
- 健やか親子特別委員会
- 健康日本21の推進に関する特別委員会
- 災害時保健活動特別委員会

活動7 代議員総会・研修会

日時:令和5年11月18日(土)

場所:ホテル国際21(長野県長野市)

内容:[1]代議員総会

- ・次年度活動方針・予算の決定 ・役員選挙
- ・統括保健師間ネットワーク推進特別委員会の設置 その他

[2]研修会

- ・基調講演「DXで保健師活動はどう変わる？
～今、保健師が取り組むべきこと～」田口敦子(慶応義塾大学看護医療学部・教授)
赤塚永貴(同・助教)
- ・実践報告1「地方自治体の保健師活動におけるICTの活用に関する調査から
見えてきた課題」 吉田知可(大分県)
- ・実践報告2「島田市における保健師活動のDX化への取組」 鈴木仁枝(静岡県)

活動8 災害関連



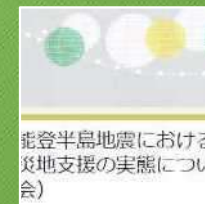
情報発信

- ホームページを活用し、情報発信
- WebGISデータ公開サイト、メンタルヘルス対策、被災しているお子さんを持つお母さんお父さん向けチラシ、ラピッドアセスメントシート等保健活動情報記入様式、応援受援時活用様式等



研修会の開催

- 「能登半島地震関連・地震断水時の避難所・避難生活の衛生対策」オフィス環監未来塾 中臣昌広先生
- 1月28日、2月29日（オンライン・オンデマンド）



実態調査

- 能登半島地震における自治体保健師の被災地支援の実態について
- 2月5日～16日
- 対象 61支部長

令和6年度に向けて

- 各種保健医療福祉計画の初年度である令和6年度は、会員相互のネットワークの重要性を踏まえ、時代の要請に応える保健師活動を追及し、保健師の未来を見据えて、①効果的な保健師の人材育成とそれを支える体制の強化、②健康格差の解消を目指した保健師活動の推進、③新たな手法による保健師活動の横展開などを図っていく。
- 令和5年度地域保健総合推進事業の成果を踏まえ「統括保健師間ネットワーク推進特別委員会」を新設し、統括保健師の機能発揮を目指す。
- 地域に根差した活動の減少などの実態を踏まえ、地区活動のあり方について議論を深めていきたい。

ご清聴ありがとうございました。



全国保健師長会